

平成28年度

元気な森林づくり活動支援事業

事例集

平成29年7月

茨城県

目 次

(平成28年度事業)

| | | |
|---|----------------------------|----|
| 1 | 森林づくり部門 | |
| | いばらき森林クラブ（常陸太田市） | 3 |
| | 奥久慈里山の会（太子町） | 4 |
| | 特定非営利法人エコ・グリーンいばらき（水戸市） | 5 |
| | 神栖市美化運動推進連絡協議会（神栖市） | 6 |
| | 森と緑を守る会（行方市） | 7 |
| | 認定NPO法人 穴塚の自然と歴史の会（土浦市） | 8 |
| | つくばフォレストクラブ（つくば市） | 9 |
| | つくば樹楽会（かすみがうら市） | 10 |
| | つくば森林クラブ（つくば市） | 11 |
| | 里山を守る会（下妻市） | 12 |
| 2 | 木づかい部門 | |
| | 栄町環境美化クラブ（常陸大宮市） | 14 |
| | 茨城県建築士会 龍ヶ崎支部（龍ヶ崎市） | 15 |
| | 古河市建築組合（古河市） | 16 |
| 3 | 森林環境学習部門 | |
| | 常陽森のボランティア（茨城町） | 18 |
| | NPO法人 やみぞの森（つくば市） | 19 |
| | NPO法人 里山再生と食の安全を考える会（つくば市） | 20 |
| | いちょうの会（取手市） | 21 |
| | 塙城址保存会（阿見町） | 22 |
| | 茨城県木材青壮年協会（常総市） | 23 |
| | 結城里山の会（結城市） | 24 |
| | 特定非営利法人こが里山を守る会（古河市） | 25 |

1 森林づくり部門

| | |
|---|--|
| 団体名及び代表者名 | いばらき森林クラブ 代表 三村 玄 |
| 事業期間 | 平成28年7月31日から平成29年3月17日 |
| 主な事業実施場所 | 常陸太田市新宿町字山吹 ヒノキ林 |
| 事業の参加者数 | 延べ68名（1回あたり最大11名，最小6名） |
| 事業による活動実績 | 対象のヒノキ林は，約30年間手入れが行われなかったまま放置されていたので，荒れて昼でも暗い場所になっていたことから，間伐，下刈り，小径木や枯損木の除伐などの森林づくり活動を行った。 |
| 事業の成果 | 事業実施後は，林内に太陽光が入るようになり，健全なヒノキ林として豊かな植生が期待できる。また，西山公園や西山荘から，森林浴をしながら散策できるようになり，森林に対する県民意識の向上に寄与することができた。さらに，密集した林内での効率の良い間伐処理や大径木の掛り木の処理，ロープ掛けなどを体験することにより，会員の技術向上を図ることができた。 |
|  |  |
| 作業前の林内 | 作業後の明るくなった林内 |
|  |  |
| 藪の刈り払い作業 | ローププラーによる掛り木の木回し処理 |
|  |  |
| 作業前の準備体操 | 活動前の元気な会員たち |

| | |
|-----------|---|
| 団体名及び代表者名 | 奥久慈里山の会 代表大串勝輝 |
| 事業期間 | 平成 28 年 4 月 25 日～平成 29 年 3 月 12 日 |
| 主な事業実施場所 | 大子町池田地区ならびに山田地区（町有林） |
| 事業の参加者数 | 延べ 257 名（1 回あたり最大 13 名・最小 2 名） |
| 事業による活動実績 | <p>大子町池田地区 N P O 法人麗潤館奥久慈漆植栽地の除草・ツルの除去等の漆保全活動を 4 月 25 日から 11 月 13 日まで実施。</p> <p>大子町山田地区町有林の杉及び雑木の除伐活動を 8 月 21 日から 3 月 12 日まで実施。</p> |
| 事業の成果 | <p>夏場は雑草の勢いが強く、刈払機だけでは間に合わずハンマー草刈機も導入し、臨時活動日を設け何とか目標達成。漆植栽の地拵え活動に大いに貢献できた。</p> <p>8 月に下刈りから取り掛かり、11 月から伐採に取組み杉約 50 本を除伐。1 月～3 月は雑木林の除伐・間伐を実施したことで、陽射しが道路に届くようになり、路面凍結が緩和され地元住民から感謝されている。明るい森づくりの事業目標を達成できた。</p> |



池田地区下刈り



山田地区下刈り



ハンマー草刈機での作業



除伐後



整備完了



整備完了

| | |
|---|--|
| 団体名及び代表者名 | 特定非営利活動法人 エコ・グリーンいばらき 理事長 大場 国行 |
| 事業期間 | 平成28年6月1日から平成29年3月20日 |
| 主な事業実施場所 | 水戸市栗崎町字原山 |
| 事業の参加者数 | 延べ529名（1回あたり最大80名，最小6名） |
| 事業による活動実績 | 緑豊かな里地・里山・平地林を子供たちに引き渡すため，放置された平地林を整備した。森林整備作業は継続的な管理が必要であるため，隣接する団体に呼びかけ組織の連携を図り，13団体により管理作業を進めた。平地林の清掃作業，倒木・枯損木の処理，伐採木の粉碎処理，チップ敷き均しなどを行った。 |
| 事業の成果 | 子供たちに対する環境教育に多くの時間を当てており参加者が増加している。「緑を育てる心を持った子供たちを育てることが求められている」として平地林等での環境教育は子供たちを育む土壌であると考えて学習会を開催している。 |
|  |  |
| 間伐 | チップ敷き均し |
|  |  |
| 巣箱づくり | 巣箱の設置 |

| | | |
|-----------|--|--|
| 団体名及び代表者名 | 神栖市美化運動推進連絡協議会 会長 才賀 秀樹 | |
| 事業期間 | 平成28年10月19日から平成29年3月16日 | |
| 主な事業実施場所 | 神栖市波崎海岸沿い | |
| 事業の参加者数 | 延べ600名（1回あたり最大500名，最小10名） | |
| 事業による活動実績 | 平成29年3月5日（日）に「白砂青松プロジェクト」を開催し，500人を超える参加者により2,500本（内1,500本が当事業によるもの）の松の苗木を植樹した。このイベントは，近年松くい虫等による被害が増大し，衰退した松林を再生させる目的で実施した。 | |
| 事業の成果 | 平成26年開催（第1回目）に植樹した松の苗木は3年経ち，松の実を作るまでに順調に生育している。また，多くの参加者が会場に足を運ぶことで，自然の美しさや大切さを感じていただくとともに，作業終了後には参加者どうしのコミュニケーションが深められた。 | |
| |  |  |
| | 植樹前 | 植樹作業 |
| |  |  |
| | 植樹作業 | 捕植作業 |
| |  |  |
| | 植樹後 | 平成26年に植樹し3年が経過した松 |

| | |
|---|--|
| 団体名及び代表者名 | 森と緑を守る会 会長 斎藤 正 |
| 事業期間 | 平成28年10月5日から平成29年2月25日 |
| 主な事業実施場所 | 行方市小貫字根木山 1405 番地, 他 5 筆 |
| 事業の参加者数 | 延べ100名 (1回あたり最大10名, 最小4名) |
| 事業による活動実績 | 幅員が十分確保できていない区間約1kmの遊歩道を, 地域住民が森林浴を楽しみながら安全に散策できるように, 重機で拡幅整備を実施した。 また, 山林内の下刈り及び間伐作業を約0.5ha実施した。 |
| 事業の成果 | 遊歩道の整備を行ったことで幅員が広がり, 子供やお年寄りも含め訪れる近隣住民が安心して散策できるようになった。 また, 遊歩道の整備により管理通路として利用が可能になり山林内の管理作業も効率的に行えるようになった。 |
|  |  |
| 拡幅整備前 1 | 拡幅整備後 1 |
|  |  |
| 拡幅整備前 2 | 拡幅整備後 2 |
|  |  |
| 拡幅整備後 3 | 下刈り, 間伐後 |

| | |
|-----------|--|
| 団体名及び代表者名 | 認定NPO法人 宍塚の自然と歴史の会 理事長 及川 ひろみ |
| 事業期間 | 平成28年6月1日から平成29年3月18日 |
| 主な事業実施場所 | 土浦市宍塚字半溜 |
| 事業の参加者数 | 延べ141名（1回あたり最大52名，最小1名） |
| 事業による活動実績 | <p>下草刈りや落ち葉掻きを学生と市民で協働して行った。</p> <p>地主から学生へ宍塚の里山での暮らし方の変遷を語り継いでいただき，現代の里山の在り方・生かし方を考える機会となった。</p> <p>生物多様性を求めた森林管理をテーマに学習会を開催した。</p> |
| 事業の成果 | <p>当事業の活動を含む森林整備活動を継続したことで，多様な植物が見られるようになった。また，散策路脇の伐採竹の粉碎によって林内が明るくなり，訪問者も増えている。整備活動や学習会を地主・市民・学生等と協働して行ったことで，絆も深まった。</p> |



学生と協働し落ち葉掻き



下草刈り



伐採竹のチップ化①



伐採竹のチップ化②



地主から学生へ語り継ぎ



学習会の様子

| | |
|---|--|
| 団体名及び代表者名 | つくばフォレストクラブ 代表 福木 哲朗 |
| 事業期間 | 平成28年5月18日から平成29年3月9日 |
| 主な事業実施場所 | つくば市六斗（通称 おぐろくの森） |
| 事業の参加者数 | 延べ75名（1回あたり最大14名，最小9名） |
| 事業による活動実績 | 長年放置され，林床が暗くなり荒れた雑木林の古木・倒木の切り出しを行い，落葉樹を生かして植林地の間伐を行った。また，植林地に繁茂した篠竹や下草を刈った。切り出した間伐材他の樹木はつくば市の協力を得てチップ化し，散策道に敷設する予定である。 |
| 事業の成果 | 当初の目標どおり里山周辺は明るくなり，散策者のグループやバードウォッチャーが増えた。以前整備した箇所は虫・野鳥・小動物が見られ，生態系がよみがえっている。今回の整備箇所も同様に，快適な森林浴の場となることが予想される。 |
|  |  |
| 下草刈り作業 | 林床が暗いため間伐処理 |
|  |  |
| 伐採後，樹木をチップ化 | 散策者の森林浴の様子 |

| | |
|-----------|---|
| 団体名及び代表者名 | つくば樹楽会 会長 阿部 隆男 |
| 事業期間 | 平成28年4月17日から平成29年3月5日 |
| 主な事業実施場所 | かすみがうら市東野寺 |
| 事業の参加者数 | 延べ180名（1回あたり最大12名，最小8名） |
| 事業による活動実績 | 檜林の整備（除間伐12回・下草刈り8回・枝打ち2回） 地域住民との交流会で，間伐した檜材を活用した箸作り・コースター作りを実施した。森林の役割や，地球温暖化防止に関わる森林の機能について説明した。また，参加者と広葉樹の植栽を行った。 |
| 事業の成果 | 間伐・除伐・下草刈りは計画通り実施できた。「森林の役割をもっと知ろう」をテーマにした交流会では，檜の間伐材を用いた箸作り・コースター作りが大変好評で，地域住民と森林の大切さを学ぶことができた。 また，会のHPで活動を知って整備箇所を訪れる市民が増えている。 |



活動前のミーティング



以前植栽した箇所の整備



間伐後，見通しの良い林内



整備終了後



交流会での箸作りの様子



交流会の参加者の集合写真

| | |
|---|---|
| 団体名及び代表者名 | つくば森林クラブ 代表 青木 正 |
| 事業期間 | 平成28年9月1日から平成29年3月10日 |
| 主な事業実施場所 | つくば市手代木小字高野，小字田向西 |
| 事業の参加者数 | 延べ48名（1回あたり最大10名，最小5名） |
| 事業による活動実績 | <p>交通量の多い道路沿いの森林の一区画を整備し，景観上・風紀上・衛生上ともに改善された。枯れた大木や藤蔓のかかる木の伐採・玉切りを行った。また篠竹の下草刈りも実施し，今後の下草刈りや植樹での林床の管理を意識した整備を心掛けた。</p> <p>つくば市主催の農業祭等で，環境税のPRと併せて会の活動を紹介した。</p> |
| 事業の成果 | <p>篠竹が繁茂し，枯木・大木が多く整備に手間を要したが，混合林としての整備を意識し初期の森林整備はほぼ達成できた。平地林として活用するための整備方法も検討し，年間計画の中に位置づけ管理を継続していく。</p> |
|  |  |
| 整備状況① | 整備状況② |
|  |  |
| 整備後，見通しの良くなった森林 | 集合写真 |

| | |
|---|--|
| 団体名及び代表者名 | 里山を守る会 理事長 中川行夫 |
| 事業期間 | 平成28年8月25日から平成29年3月24日 |
| 主な事業実施場所 | 下妻市大字上野字五郎助地内, 筑西市上野地内ほか |
| 事業の参加者数 | 延べ500名 (1回あたり最大35名, 最小20名) |
| 事業による活動実績 | <p>毎月の定例作業日に20～35名の会員が集合し、その時期に適した整備作業を行っている。枯れ木処理, 下草刈り, 間伐等の里山の整備のほか, 遊歩道の整備も行った。さらにベンチテーブルの制作及び設置も行った。</p> <p>また, 行政, 企業, 団体等をメインにした「ふるさとの森を守ろう」を開催し, 5企業7団体より計約170名を超える参加があり, 当会の活動に参加してくれる方々が増えた。</p> |
| 事業の成果 | <p>本年の遊歩道の整備により五郎助山すべての遊歩道がつながり, 地域の憩いの森としての整備が整った。</p> <p>企業の社会貢献として当会の活動に参加してくれる方々が増えており, 森林の多面的な効用を発信し, 地域の財産として里山の保全, 保護の啓発を図ることに寄与できた。</p> |
|  |  |
| 遊歩道整備 (杭打ち) | ベンチテーブル (木材加工) |
|  |  |
| 遊歩道整備 (ロープ張り) | ベンチテーブル (防腐剤塗布) |
|  |  |
| 遊歩道 | ベンチテーブル |

2 木づかい部門

| | |
|-----------|--|
| 団体名及び代表者名 | 栄町環境美化クラブ 代表 鴨志田紘二 |
| 事業期間 | 平成28年8月4日から平成29年1月20日 |
| 主な事業実施場所 | 常陸大宮市栄町地内 |
| 事業の参加者数 | 延べ85名（1回あたり最大28名，最小4名） |
| 事業による活動実績 | 常陸大宮市栄町の公民館広場に，間伐材を活用した「あずまや」を設置した。製作や設置には会員が従事した。 規模：2.8m×2.8m×高さ2.8m（杉皮屋根） 数量：1基 |
| 事業の成果 | 間伐材による「あずまや」を設置したことにより，木材の有効活用と木の温もりを感じている。 また，区の公民館広場に設置のため，各種行事ごとに多くの区民が利用することにより，木材の良さや資源の大切さが理解される。 |



製作計画の打合せ（※3）



製作状況



製作状況（杉皮屋根）



設置完了写真

| | |
|-----------|---|
| 団体名及び代表者名 | 茨城県建築士会 龍ヶ崎支部 支部長 家富 秀一 |
| 事業期間 | 平成28年7月30日から平成29年2月3日 |
| 主な事業実施場所 | 龍ヶ崎市商店街大通り にぎわい広場 |
| 事業の参加者数 | 延べ200名 |
| 事業による活動実績 | 茨城県産のヒノキ材を使用した「すのこ作り体験」を実施。参加者が多く、すのこ資材配布終了後は端材を使ったコースター・積み木作り、ミニ上棟体験、釘打ち体験で楽しんでいただいた。森林育成サイクルを説明しながら、親子で木のぬくもりや工作の楽しさを感じていただくことができた。 |
| 事業の成果 | 安全な機材の使い方やもの作りの楽しさを伝え、「金槌を初めて使ったが、危険ではなく楽しくできた」「子供も楽しめた」ほか再度実施を要望する声やDIY講習、家屋の耐震相談の要望があり、木工工作及び会の活動に対する関心を得られた。 |



打ち合わせ



製材準備



集合写真



すのこ試作品



イベント状況①



イベント状況②

| | |
|-----------|---|
| 団体名及び代表者名 | 古河市建築組合 組合長 塚原 茂 |
| 事業期間 | 平成28年10月5日から平成28年10月6日 |
| 主な事業実施場所 | 古河市公方公園内 |
| 事業の参加者数 | 延べ100名（1回あたり最大50名×2日） |
| 事業による活動実績 | <p>当組合員が指導員となり、おもに小学生の児童とその父兄を対象に、25名ずつ4回に分けて木工教室を開催した。</p> <p>当日は、参加者に木材と釘を配布し、親子で協力しながら釘を打ちつけ、最後にサンドペーパーで表面を仕上げ、木製の椅子とベンチの製作を行った。</p> |
| 事業の成果 | <p>現代の子ども達はほとんど外で遊ばないため、木に触れる機会が少ないが、今回の事業を通じて、木の軽さ、肌ざわりの良さ、香りの良さ、加工のしやすさ等に大変驚いていた。</p> <p>また、父兄や地域住民も一緒に参加することで、皆が森林や木材に興味を持ち、さらに共同作業をしながら親子や地域の交流を深めてもらうことができた。</p> |



木工教室の様子



木工教室の様子



完成品（椅子）



完成品（ベンチ）

3. 森林環境學習部門

| | |
|---|--|
| 団体名及び代表者名 | 常陽森のボランティア 代表 日熊 幸男 |
| 事業期間 | 平成28年4月1日から平成29年3月10日 |
| 主な事業実施場所 | 茨城町小幡民有林 |
| 事業の参加者数 | 延べ126名（1回あたり最大40名，最小3名） |
| 事業による活動実績 | <p>過去に本事業等を活用し整備したフィールドにおいて，近隣住民や養護施設の児童などを対象とした森林学習イベントを開催した。平成28年11月にきのこ収穫祭り，竹細工，平成29年2月に竹工作，餅つき大会を開催した。</p> <p>また，イベント開催前には事前準備と当日の安全確保のため，森林整備を実施した。</p> |
| 事業の成果 | <p>森林学習イベントの参加者は，森林の中での竹細工体験や森の恵みを味わうことで，森林の持つ働きを体で感じる事ができた。また，人と人とのつながりの大切さを再認識し，交流を深める事ができた。</p> |
|  |  |
| イベント会場整備 | 竹とうろう作り |
|  |  |
| きのこ収穫 | 竹ぼっくり作り |

| | |
|-----------|--|
| 団体名及び代表者名 | NPO法人 やみぞの森 理事長 石川 多聞 |
| 事業期間 | 平成28年7月15日から平成29年1月15日 |
| 主な事業実施場所 | つくば市「春日交流センター」 |
| 事業の参加者数 | 延べ107名 |
| 事業による活動実績 | 県産材による「木づかい」を通じ、環境意識の啓蒙と創造性を培う親子木工教室を、つくば市及び土浦市の小学生と保護者を対象に実施した。環境総合展示会「エコプロダクツ 2016」で児童の作品や材料キット、パネルを紹介した。来場者からは木工教室の実施方法への質問が目立った。 |
| 事業の成果 | 「親子で協力して行う創作活動」「本格的な木工体験」としての評価が高かった。参加した保護者からは「どの作品が正解、という考えがなく楽しく作れる」「普段の生活で木への関心をもつようになった」などの感想を得られ、事業継続を希望する声が非常に多かった。 |



イベント打ち合わせ



イベント状況①



イベント状況②



完成作品（一部）



集合写真

| | |
|-----------|---|
| 団体名及び代表者名 | NPO法人 里山再生と食の安全を考える会 理事長 飯泉 孝司 |
| 事業期間 | 平成28年10月13日から平成29年1月11日 |
| 主な事業実施場所 | つくば市「なかのきのこ園」 |
| 事業の参加者数 | 延べ89名 |
| 事業による活動実績 | 地域活性と里山保全を目的としたグリーンツーリズム事業の一環として、次世代を担う子供たちが親子で楽しめる「きのこづくり体験教室」（原木しいたけの植菌・収穫体験）を実施した。この体験を通じ、自然環境や森林の利活用について関心を深め、森林が与えてくれる安全な食の恩恵を次世代に継承する一助とすることができた。 |
| 事業の成果 | この体験を行うことにより、自然環境や森林の利活用についての興味・関心を深めることができ、森林を大切にする心の醸成が図られた。家族で協力する体験を通じ、お互いを思いやる大切さに気付くことができた。次回も参加したいとの要望の声が多数寄せられた。 |



しいたけ収穫体験①



しいたけ収穫体験②



植菌体験①



植菌体験②



植菌センター見学



原木管理（散水）

| | |
|-----------|---|
| 団体名及び代表者名 | いちょうの会 会長 結城 直子 |
| 事業期間 | 平成28年6月1日から平成28年11月26日 |
| 主な事業実施場所 | ①藤代スポーツセンター ②ゆめみ野公園 |
| 事業の参加者数 | 延べ80名（1回あたり最大50名，最小30名） |
| 事業による活動実績 | <p>会で以前に植樹したソメイヨシノを教材に，樹木の剪定講習会を実施。剪定処理や害虫駆除等の管理方法の説明を講師から受けることができた。</p> <p>樹木観察会では自然のままの雑木林を観察し，樹木の多様性を知ることで市民の地域緑化への意識を高めた。</p> |
| 事業の成果 | <p>今回の剪定講習会・樹木管理と自然林の観察会を含め，会で継続して植樹し管理した桜・シラカシが育ち，市民に利用されている。また，野鳥も集まり豊かな生態系が作られつつある。今回の事業では地域緑化の大切さを市民に伝え，保全意識を高めることができた。</p> |



剪定作業を実演



病虫害への対処を説明



枝を使い特徴等を説明



雑木林での樹木観察

| | |
|-----------|--|
| 団体名及び代表者名 | 塙城址保存会 会長 栗原 宜行 |
| 事業期間 | 平成29年2月1日から平成29年3月24日 |
| 主な事業実施場所 | 阿見町大字塙 |
| 事業の参加者数 | 延べ120名（1回あたり最大60名，最小20名） |
| 事業による活動実績 | 3/5 塙城址の地権者に対し，森林環境学習会を開催。 3/12 地域住民に対し，森林環境学習会を開催。 3/19 君原小学校の児童・保護者を対象に森林環境学習会を実施し，木工工作キットを配布。阿見町執行部の職員にも参加していただいた。 |
| 事業の成果 | 低炭素・脱炭素社会の実現のため，森林伐採という形で太陽光発電システムの建設が進んでいるなか，地域住民に対して森林の役割・公益的機能や大切さを学習する場を提供した。普及啓発により，地域の森林保全の必要性を強める「塙モデル」構築の先駆けとして活動ができた。 |



森林環境学習会状況①



森林環境学習会状況②



職員及び講師による説明①



職員及び講師による説明②

| | |
|-----------|---|
| 団体名及び代表者名 | 茨城県木材青壮年協会 会長 伊藤仁司 |
| 事業期間 | 平成28年7月1日から平成29年3月23日 |
| 主な事業実施場所 | 常総市内、市内幼稚園及び保育園ほか |
| 事業の参加者数 | 延べ305名（1回あたり最大60名，最小45名）（※1） |
| 事業による活動実績 | 木のおもちゃ作りを常総市の水害被害にあった親子及び住宅建設を考えている年齢層の親子に実施をし、木材（県産材）に親しんでもらい、木の良さ温かさを実感してもらうとともに木造住宅の良さをPRした。 |
| 事業の成果 | 木のおもちゃ作りを、常総市の水害被害にあった親子200人及び住宅建設を考えている年齢層の親子105人に実施をした。木材（県産材）に親しんでもらい、木の良さ温かさを実感し、親子で一緒に作業することにより親子の絆を深くしてもらい、水害被害にあった親子に笑顔に戻ってもらうことができ、また木造住宅の良さもPRできた。 |



イベントでの木工教室



幼稚園保育園での木工教室



イベントでの木工教室



幼稚園保育園での木工教室



イベントでの木工教室



幼稚園保育園での木工教室

| | |
|---|--|
| 団体名及び代表者名 | 結城里山の会 会長 海老沢功 |
| 事業期間 | 平成28年8月11日から平成29年3月26日 |
| 主な事業実施場所 | 結城市田間地内 結城市健康の森 |
| 事業の参加者数 | 延べ820名（1回あたり最大600名，最小3名） |
| 事業による活動実績 | 里山の整備活動を13回，里山を活用した子供たちの体験活動を5回実施し，この体験活動（里山発見レンジャー）には父兄も子供達と一緒に参加した。また，地元小学校4年生が年間を通して森での授業を行っており，季節ごとの変化を学び，6年生がドングリから育てたクヌギやコナラを植樹した。 |
| 事業の成果 | <p>戸外で遊ぶ事の少ない子供達のために，自然に親しみ興味を持って森遊びや種々の体験活動ができるように里山の整備活動を行ったことで，地元小学校の4～6年生を中心に環境教育に里山を利用することが定着した。</p> <p>また，里山の整備を定期的に行なうことで，多くの市民が里山を散歩したり，子供と保護者が合同で参加した里山を活用した体験活動を開催することができたりしたので，里山（自然）への関心が高まった。</p> |
|  |  |
| 親子里山発見レンジャー | 親子里山発見レンジャー |
|  |  |
| 森の中での授業 | ドングリから育てた木の植樹 |
|  |  |
| 親子里山体験活動 | 里山の整備活動 |

| | |
|-----------|--|
| 団体名及び代表者名 | 特定非営利活動法人こが里山を守る会 代表理事 蒔田睦郎 |
| 事業期間 | 平成28年9月1日から平成29年2月28日 |
| 主な事業実施場所 | 古河市稲宮地区 |
| 事業の参加者数 | 延べ396名(1回あたり最大93名, 最小20名) |
| 事業による活動実績 | <p>地元の小・中学生及び園児の参加による里山体験活動を実施した。</p> <p>自然環境体験学習として、里山の生物調査(タニシ・ドジョウ放流, 水辺にアベリア植栽), 里山の恵み体験(茸の植菌・さつま芋・山栗拾い・ドングリ拾い)・里山整備(立枯れ木伐採・植樹), 体験活動を実施した。</p> |
| 事業の成果 | <p>身近な里山を地元の小中学生の自然環境学習の場として、毎年活用することにより、学校側も積極的に里山体験学習カリキュラムを組むようになってきた。また、里山体験学習は保育園や幼稚園児の参加も増えつつあり、父兄・市民の評価も高い。</p> <p>自然環境学習の場として市民に開放することで、里山に生息する動植物の保全への意識が向上してきているとともに、特に里山へのゴミの不法投棄が少なくなってきた。</p> |



立ち枯れ木調査



伐採体験



植樹体験



椎茸の植菌体験